




くらなび会員紹介(くらなびの団体会員をご紹介します)

今回は、エコプランふくいさんと真栄青果さんに寄稿していただきました。
 どちらの団体も消費者活動やくらなびの事業を理解し、くらなびを強力に支援して下さる「くらなび会員」です。

会員名	NPO法人 エコプランふくい	真栄青果(株)
簡単な紹介 ※組織の理念や 主な事業・活動 	行政とのパートナーシップで環境保全活動をすすめる仕組みづくりをめざして結成しました。 主な活動は、地球温暖化防止活動推進センターの活動や幼児の自然体験活動(親子自然体験教室、保育園での体験教室、指導者養成研修)、自然エネルギー体験教室などです。	福井市中央卸売市場で青果を扱う会社です。 当社は、食の安全・安心に取り組み、消費者の方々、流通業者の方々に商品を流通、提供しております。当社は、自然の恵みに感謝し、地産地消、食育活動、環境保全に貢献してまいります。
消費者への メッセージ 	地球温暖化防止に対する意識は高まっていますが、家庭部門のCO ₂ 排出量は増え続けています。本当にCO ₂ 削減が望める取り組みを消費者の皆さんと考えていきたいと思っています。その活動が今年から取り組む「うちエコ診断事業」です。「診断」をご希望の方はエコプランまでご連絡ください。	日本という限られた国土の中での産地で、精魂込めて作られている農産物。世界水準No. 1と言われる農業技術で、生産者の皆さんの熱い思いで生産される自然の恵みを、大切に、感謝の心を持って、召し上がってください。
くらなびに 期待すること 	エコプランふくいは、環境問題についての行政と市民(消費者)の橋渡しをめざしています。「くらなび」は、さらに消費者に近い目線で、これからの暮らしのあり方について情報発信、啓発、消費者保護に力を入れていただくことを期待します。	福井県内はもちろん、全国の皆様の生活の安定化と、安心して楽しく暮らせる智恵と知識の向上に向け、会員の皆様、そして全ての生活者の皆様に、ナビゲートしていきたくないと願っております。

編集後記

実りの秋を迎えましたが、夏の猛暑がたたりサンマや鮭が不漁に…。熊の出没も激しくなり、さらにお米のできも今ひとつ。奄美大島では超大型台風の余波で大雨と、一体日本列島はどうなっているのでしょうか。お米の収穫は少ないのに消費減で「米あまり」の見通しだとか…。せめて地元のお米をせっせと食べて地産地消をすすめましょう。

先日、男の料理教室のみなさんと文殊山にきのこ狩りに行ってきました。採集したきのこが約40種。きのこの会の方の鑑定で、このうち食用が6〜7種だけ、圧倒的に食用に向かないきのこが多く、最近の中毒事件の多さもうなずけます。でも、きのこの会の方によると、今年のきのこは豊作で、もう出なくなっていた山で松茸が採れているそうです。(大)

